

日本ソーシヤル
イノベーシヨン学会
第4回年次大会

2022
11.26

SAT



11.27

SUN

ひとりの夢が未来をつくる

会場：同志社大学室町キャンパス寒梅館

日本ソーシャル イノベーション学会 第4回年次大会

ひとりの夢が未来をつくる

2022
11.26
SAT
▼
11.27
SUN

1日目(11月26日・土) 寒梅館とオンライン

13:00	開場
13:00-13:50	1. (全体会) 開会+チェックイン (20分)
13:50-14:00	休憩 (10分)
14:00-15:30	2. (分散会) 「研究・実践報告」の発表 (90分)
15:30-15:45	休憩 (15分)
15:45-16:45	3. (分散会) 「研究・実践報告」の発表 (60分)
16:45-17:00	休憩 (15分)
17:00-17:40	4. (全体会) 国内セッション (40分)
17:40-18:00	休憩 (20分)
18:00-19:30	5. (全体会) 国際セッション基調講演 (90分)
19:30	終了

2日目(11月27日・日) 寒梅館とオンライン

09:30-11:00	6. (分散会) 分科会 (90分)
11:00-11:15	休憩 (10分)
11:15-11:45	7. (全体会) ラップアップ
11:45-12:45	休憩、昼食 (60分)
12:45-14:25	8. (分散会) 「研究・実践スライド」の発表 (90分)
14:25-14:45	休憩 (20分)
14:45-15:15	9. (次回大会に向けて) チェックアウト+閉会 (30分)
15:15	終了

ジェフ・マルガン氏による基調講演



COVID-19 後の世界を創る：SI の貢献は可能か？

CREATING A POST-COVID WORLD: HOW CAN SOCIAL INNOVATION CONTRIBUTE?

新型コロナウイルスの世界的な流行、ロシアのウクライナ侵攻、地球温暖化、民主主義の危機と歴史的な転換期にある世界で、ソーシャル・イノベーションはどのような役割を果たせるのでしょうか。ジェフ・マルガン(ロンドン大学UCL教授)はこれまでの世界中のソーシャル・イノベーションの実践と研究を牽引してきた巨人です。主著『ソーシャル・イノベーション—社会が変革への力を見出すには』の翻訳出版(ミネルヴァ書房より9月予定)も決まったマルガンの基調講演と、日本SI学会の新川代表理事と服部理事によるパネル・ディスカッションを通じて「人々が力を取り戻す」SIがどのように創り出せるのか、ともに考えましょう。

ジェフ・マルガン (Sir Geoff Mulgan)

1961年生まれ。シンクタンク・デモスのディレクター、英国政府の戦略室長及び首相府の政策責任者、ヤング財団およびネスタの最高経営責任者等を経て、現在はユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)教授。SIX(Social Innovation Exchange)の創設者であり、世界各地で政府への助言や客員教授を務める。2020年には永年のソーシャル・イノベーションへの功績により英国政府より爵位を授与された。著作は『Social Innovation』『Big Mind』『Another World is Possible』含め多数。

会場：同志社大学室町キャンパス寒梅館